Mizuho Lite CMS

証明書マニュアル

(第1.1版)

2024年3月

<はじめに> 1.Mizuho Lite CMS ご利用時の留意事項・・・・・・・・・・・・・・・P.1
<電子証明書発行> 2. 電子証明書発行アプリケーションインストール ・・・・・P. 2~3 3. 電子証明書 新規発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 4 4. ルート証明書 インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5~6 5. 中間認証局証明書 インストール・・・・・
<電子証明書更新> 6. 電子証明書発行アプリケーション/電子証明書更新・・・・・・P. 9~10
<その他> 7.問題発生時の対処方法・・・・・P.11~12
*本マニュアルに記載の画面イメージはMicrosoft Edgeの画面になります。

1.Mizuho Lite CMS ご利用時の留意事項

Mizuho Lite CMS(MLCMS)をご利用いただきありがとうございます。 サービスご利用開始時や電子証明書の更新時における留意事項をご案内いたします。 MLCMSをご利用いただく前に、ご確認いただきますようお願いいたします。

1. MLCMSへのアクセス前に電子証明書をインストールしてください

電子証明書がインストールされていない状態でMLCMSへアクセスすると、以下のようなエラー画面が表示されます。 本マニュアルをご参照のうえ、電子証明書のインストールをお願いいたします。

サーバー エラー
403 - 許可されていません: アクセスが拒否されました。
指定した資格情報を使用して、このティレクトリまたはページを表示するアクセス再可加ありません。

2. アクセス時は電子証明書を正しく選択してください

MLCMSの電子証明書を選択せずにMLCMSへアクセスすると、前項と同様「403 -許可されていません:アクセスが拒否されました」というエラー画面が 表示されます。

電子証明書選択画面で、「CMSX9XX-XXX-XXX」と記載されている電子証明書を選択し、OKを押下してください。

※電子証明書の更新時は「CMSX9XX-XXX-XXX」と記載されている証明書が新旧2つ表示される場合があります。この場合は最新の日付の証明書を 選択してください。

■クライアント証明書の選択画面例



3. MLCMSへの接続URLをご確認ください

MLCMSへアクセスする際、Microsoft Edgeで誤った接続URLを指定すると以下のようなエラー画面が表示されます。MLCMSの接続URLは統括会社さまへご案内しておりますので、ご確認をお願いいたします。

※MLCMSの接続URLの例: 「https://mizuholite.macms.jp/XXXXXXXX/macms」



【ご注意】

「Mizuho Advanced CMS」(MACMS)からMLCMSへ移行されたお客さまへ MACMSとMLCMSの接続URLは異なります。MACMSの接続URLを入力してしてもMLCMSへは接続できませんのでご注意ください。

2.電子証明書発行アプリケーションインストール

 Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、以下のURLを入力して 以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト (以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL https://www.ccissue.op	encanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002C/
2. 「電子証明書 発行」をクリック	つします。
MIZUHO Mizuho Lite CMS電子证明書	発行・更新サイト
電子証明書発行・更新サイト トップページ	
日 電子	证明書 発行
⑧ 電子	証明書 更新
۵ n-	ト証明書 ダウンロード

3. 証明書発行サイトの「こちら」をクリックし、証明書発行アプリケーションの インストーラーをダウンロードします。



注意

管理者ユーザでない場合にインストール時に管理者パスワードを求められる画面が表示されます。 証明書発行アプリケーションでは管理者権限を必要とする操作があることから表示されます。 管理者パスワードを入力し、「はい」をクリックしてください。

4. ダウンロードされた「ocvcc_installer_mz0001002c.msi」を選択し、



 「Mizuho Lite CMS 証明書発行アプリケーション セットアップ」画面が 表示されます。「次へ(N)」をクリックします。



 インストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。 フォルダーを選択の上、「次へ(N)」をクリックします。

🖁 Mizuho Lite CMS証明書発行アプリケーション セットアップ	10-01		×
インストール先フォルダー			
既定のフォルダーにインストールするには [次へ] をクリックし、別の	フォルダーを選	2	
Mizuho Lite CMS証明書発行アプリケーション のインストール先:			
C:¥Program Files (x86)¥OcvCCCertTool¥MZ0001002C¥			1
変更(C)			

補足

・証明書発行アブリケーションのインストール先フォルダーは、Windows OSのbit数によって下記となります。
 64bitOSの場合 C:¥Program Files (x86)¥OcvCCCertTool¥MZ0001002C¥
 32bitOSの場合 C:¥Program Files¥OcvCCCertTool¥MZ0001002C¥

Mizuho Lite CMS証明書発行:	アプリケーション セットアップ	- 0	>
Mizuho Lite CMS証明書発	行アプリケーション のインスト	ール準備完了	
インストールを開始するには [イ は変更するには [戻る] をクリック してください。	ンストール] をクリックしてください りしてください。ウィザードを終了:	。インストール設定を確認 するには [キャンセル] をり	忍また リック

Mizuho Lite CMS証明書発行アブ	リケーション セットアップ	10-01	
Mizuho Lite CMS証明書発行	テアプリケーション をインスト	~ル中	
Mizuho Lite CMS証明書発行アプリ・	ケーション をインストールしてい	ます。しばらくお待	持ください。
状態:			
2			

注意

・管理者ユーザでない場合にインストール時に管理者パスワードを求められる画面が表示されます。 証明書発行アプリケーションでは管理者権限を必要とする操作があることから表示されます。 管理者パスワードを入力し、「はい」をクリックしてください。

9. インストールが完了したら「完了(F)」をクリックし、インストールが完了します。

INIZUNO LITE CIVIS証明者先行アノ	リリーションセットアップ — L X
M 번 보 ま	izuho Lite CMS証明書発行アプリケーション ットアップ ウィザードが完了しました ットアップウィザードを終了するには、「完了] ボタンをクリックし す。
12	戻る(B) 完了(F) キャンセル

補足

・完了後、インストーラーのファイル「ocvcc_installer_mz0001002c.msi」は不要になります。 お使いのパソコンから削除してください。

3.電子証明書 新規発行

 Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、 以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト (以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL https://www.ccissue.opencanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002C/
2. 「電子証明書 発行」をクリックします。
MIZUHO Mizuho Lite CMSホ子淀明書発行・更新サイト
電子証明言発行・更新サイト トップページ
🕒 電子証明書 発行
③ 電子証明書 更新
④ ルート証明書 ダウンロード

3. 「証明書発行アプリケーションを起動」をクリックし、証明書発行アプリケーションを 起動してください。



4. プロキシでの認証が必要な場合は「プロキシ認証」画面が表示されます。 「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、「認証」をクリックします。

プロキシ認証		000000
日本ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	hには、ユーザ名とバスワードを指定する必要があります。 ポタンを押下してください。	
認証情報		
1-ザ名		
パスワード		
	認証	
	NOME	

補足

・プロキシ認証画面で入力する「ユーザ名」「バスワード」は会社・組織によって異なります。
 ご不明な場合はご担当者までご確認していただくようお願いいたします。

5.「電子証明書発行・更新メインメニュー」画面で、「証明書発行」をクリックします。

亚动曲殊行	
証明書の発行を行う場合は、「証明書発行」ボタンを押し、表示される画面で必要事項を入力してください。	
証明書発行	
は可聞史新 証明書の更新を行う場合は、更新する証明書を下のリストから進択し、「証明書更新」ポタンを押してください。	
証明書更新	

6.「電子証明書 発行」画面が表示されます。ユーザID、パスワード、 メールアドレス、メールアドレス(確認)を全て入力し、「発行」をクリックします。

必要事項	
I-HID	a sur i
1(25-1)	*****
メールアドレス	any successive and the second
メールアドレス(確認)	In condenses here g
※証明書の有効期限が近づきました メール到着後、更新をお願いいたし	とう、ご登録いただきましたメールアドレス宛にお知らせメールをお送りします。 します。

補足

・電子証明書発行画面で入力する「ユーザID」「パスワード」は統括会社さまへご連絡しております。
 メールアドレスは電子証明書の期限満了と更新を知らせるメールをお送りさせていただく際に必要となります。

7.「電子証明書発行結果」画面が表示されます。証明書インストールの完了と、 メールアドレスが登録されたことを確認し「閉じる」をクリックします。

E明書のインストールが完 閉じる」ボタンを押して、 証明書を有効にするに 証明書の有効期限は、 有効期限満了の30日	27しました。 アリケーションを聞いてにされ、 は、一度全ての万分り性間じて(ださい、 発行後は年間です。 間に、電子メ→たた知らせします。	
证明書情報		
Country = JP Organization = M Organization Unit	lizuho Bank, Ltd. t = Mizuho Lite CMS CA - G1	
Common Name = 証明書シリアル番号 メールアドレス登 以下のユ- *メール1	- 4 1994 - 1995 - 199	

4.ルート証明書インストール

 Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、 以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト (以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL https://www.ccissue.opencanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002	C/
2. 「ルート証明書 ダウンロード」をクリックします。	
Mizuho Lite CMS電子証明書架行・更新サイト	
電子証明吉発行・更新サイト トップページ	
電子証明書 発行	
③ 電子証明書 更新	
④ ルート証明書 ダウンロード	

 表示されるダウンロードダイアログの「ファイルを開く」をクリックします。 zipファイルを解凍し、ファイル内にルート証明書(MZ0001001C.cer)、 中間認証局証明書(MZ0001002C.cer)があることを確認します。

 Ⅰ ✓ ✓<th>圧縮フォルダー ツール 表示 展開</th><th></th><th>×</th>	圧縮フォルダー ツール 表示 展開		×
← → • ↑ 🚺 > PC >	ダウンロード > MZ0001002C.zip	✓ Ö MZ0001002C,	p
名前	種類	圧縮サイズ パスワード保	サイ
🗔 MZ0001001C.cer	セキュリティ証明書	1 KB 🗮	
🗔 MZ0001002C.cer	セキュリティ証明書	1 KB 🗯	
<			>
2 個の項目		855	

補足

・ダウンロードダイアログに「デバイスに問題を起こす可能性があります。このままファイルを保存しますか?」という 警告メッセージが表示される場合があります。その際は [保存]をクリックしてください。

4. フォルダ内のルート証明書をダブルクリックすることで、ルート証明書のプロパティ画面が 表示されます。発行先および発行者欄に「Mizuho Bank, Ltd.」と表示されている ことを確認し、「証明書のインストール(I) |をクリックします。

証明	*		
主般	\$ 羊 和田	月のパス	
	😝 証明書の	情報	
この。明日	D CA ルート証明 書を信頼された	書は信頼されていません。信頼を有効にするにはこ ル−ト証明機関のストアにインストールしてください。	この証
-	発行先:	Mizuho Bank, Ltd CA - G1	
	発行者:	Mizuho Bank, Ltd CA - G1	
	有効期間:	2023/06/15 から 2033/06/12	
		証明書のインストール(I) 発行者のス	(テートメント(S)
			-
			OK

5. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「保存場所」にて「現在のユーザー(C)」を 選択し、「次へ(N)」をクリックします。



6. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「証明書ストア」にて「証明書をすべて 次のストアに配置する(P)」を選択し、「参照(R)」をクリックします。

証明書ストア				
証明書スト	7は、証明書が保管されるシ	ステム上の領域です。		
Windows (証明書ストアを自動的に選	択させるか、証明書の	場所を指定することが	できます。
〇証明	書の種類に基づいて、自動的	的に証明書ストアを選ば	Rする(U)	
● 証明	書をすべて次のストアに配置	する(P)		
証明	目書ストア:			
				参照(R)

7.「証明書ストアの選択」画面で「物理ストアを表示する(S)」が選択されていない ことを確認します。「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」をクリックします。

 個人	~
 信頼されたルート証明機関	
 エンターフライスの信頼	
 中間証明機関	
 Active Directory ユーザー オブジェクト	
 信頼された発行元	
 信頼されていない証明書	~

8.「証明書のインポート ウィザード」画面で「証明書ストア」の欄に、「信頼された ルート証明機関」と表示されていることを確認し、「次へ(N)」をクリックします。

証明書ストア				
証明書ストア	は、証明書が保管されるシ	ステム上の領域です。		
Windows (2	証明書ストアを自動的に選	択させるか、 証明書の場所	所を指定することができま	. T.
〇証明	書の種類に基づいて、自動自	りに証明書ストアを選択す	「る(U)	
• 証明:	書をすべて次のストアに配置	する(P)		
証明	書ストア:			
信用	jiされたルート証明機関		3	▶照(R)
				1.10

9. 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されます。「ユーザーが選択した 証明書ストア」の欄に「信頼されたルート証明機関」と表示されていることを確認し、 「完了(F)」をクリックします。

. Ster	萨 証明書のインボート ウィザード			
	証明書のインポート・	ウィザードの完了		
	[完了]をクリックすると、証	明書がインポートされます。		
	次の設定が指定されました:	7ト 信頼されたルート証明機関		
	内容	······································		
			完了(F) キー	マンセル

補足

- ・「完了(F)」をクリックした後に、「セキュリティ警告」画面表示された場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。
- **10.** 証明書のインポート ウィザードの完了画面が表示されます。「正しくインポートされました。」と表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。



11. ルート証明書のプロパティ画面で「OK」をクリックし、画面を閉じます。

■ 証明書	\times
全般 詳細 証明のパス	
[28] 証明世の情報	
この証明書の目的:	
 すべての発行ポリシー 	
 すべてのアフリケーション ホリシー 	
発行先: Mizuho Bank, Ltd. CA - G1	
発行者: Mizuho Bank, Ltd. CA - G1	
有効期間 2023/06/15 から 2033/06/12	
証明書のインストール() 発行者のステートメント	(S)
	ок

5.中間認証局証明書インストール

 ダウンロードした中間認証局証明書(MZ0001002C.cer)をダブルクリックし、プロ パティ画面の発行先欄に「Mizuho Lite CMS」、発行者の欄に「Mizuho Bank, Ltd.」と表示されていることを確認し、「証明書のインストール(I)」をクリックします。

	証明者の	情報	
この前	E明書の目的:	r.	
	 すべてのア 	プリケーション ポリシー	
_			
	発行先:	Mizuho Lite CMS CA - G1	
	発行者:	Mizuho Bank, Ltd. CA - G1	
	方动期期	2022/06/15 10 2022/06/12	
	16 XUMITEL 4	2023/06/15 175 2033/06/12	
		証明書のインストール(I) 単行	春のステートメント(S)

2. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「保存場所」にて「現在のユーザー(C)」を 選択し、「次へ(N)」をクリックします。



3. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「証明書ストア」にて「証明書をすべて 次のストアに配置する(P)」選択し、「参照(R)」をクリックします。

OP HL	99 E 01 J	///=1-045	-1					
証明	書ストア							
	証明書2	ストアは、証明	月書が保管さ	されるシステム	上の領域です	•		
	Window	/s に証明書	ストアを自動	b的に選択さ ^t	tるか、証明者	の場所を指定	きすることか	「できます。
	01	[明書の種実	前に基づいて	、自動的に証	明書ストアを	瞿択する(U)		
	 I 	E明書をすべ	て次のストア	?に配置する(P	P)			
	-	표명 물지기						參照(R)

4. 「証明書ストアの選択」画面で「物理ストアを表示する(S)」が選択されていなことを 確認します。「中間証明機関」をクリックし、「OK」をクリックします。





8. 中間認証局証明書のプロパティ画面で「OK」をクリックし、画面を閉じます。

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日)情報	
この証明書の目的 • すべてのア	h: プリケーション ポリシー	
発行先:	Mizuho Lite CMS CA - G1	
発行者:	Mizuho Bank, Ltd. CA - G1	
有効期間	2023/06/15 から 2033/06/12	
	証明書のインストール(I)	を行春のステートメント(S)

6.電子証明書発行アプリケーション/電子証明書更新

- 1. 電子証明書の有効期限満了の30日前および7日前になりましたら、 電子証明書に記載されているユーザのメールアドレス宛に、以下のような まもなく有効期限が満了する旨のメールが送信されますので、ご確認ください。 【重要】「Mizuho Lite CMS」電子証明書更新のお願い
- info.cms@mlcms.mizuhobank.co.jp 病先 mlcms.test02@outlook.jp
- 今 返信 《う 全員に返信 → 転送 ・・・ 2024/01/17 (水) 6:30 info.cms@mlcms.mizuhobank.co.ip (1) 75グを設定します: 2024年3月28日木曜日に完了しました。 S/MIME証明書の認証マーク(Microsoft 平素より、Mizuho Life CMS をご利用いただき、ありがとうございます。 Outlook®の場合の表示)

お客さまがご利用されている証明書は、まもなく有効期限を迎えます。 つきましては、下記有効期限までに必ず証明書の更新をお願いいたします。

証明書が有効期限切れとなってしまった場合は、1週間程度、サービスをご利用いただけなくなることがありますので ご注意ください。

【更新が必要な証明書】 証明書ユーザ ID CMSM950-006-401 証明書有効期限 2024/02/16

【証明書更新方法】

以下 URL にあります「Mizuho Lite CMS 証明書マニュアル」にてご確認ください。 URL : https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/ebservice/shikin/advanced_cms/index.html

このメールは証明書の有効期限から 30 日程度前に、該当する証明書の発行時にご登録いただいたメールアドレス宛に が送りしています。

補足

・電子証明書の更新は、有効期限満了の60日前から可能です。メール受信前でも実施いただけます。 ・電子メール受信時に、S/MIME中間CA証明書がメールサーバまたはご利用端末にインストールされていない 場合、電子署名(※1)が自動で付与されません。S/MIME中間CA証明書を事前もしくはメール受信時に 手動でインストールすることで認証が可能です。なお、電子署名が付与されていない状態でも、メールをご確認 いただくことは可能です。

・電子メール受信時に、メールセキュリティソフト「ProofPoint®」等を利用している場合、メール本文のURLが 自動変換される等により電子署名が自動で付与されない場合があります。

(※1)ご利用のメールソフトによって電子署名の表示方法は異なります。

例えば、Microsoft Outlook®の場合は、上記メール右上に赤いリボンの認証マークが表示されます。

2. Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、 以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト (以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL https://www.ccissue.opencanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002C/

3. [電子証明書 更新]をクリックします。



4. 「証明書発行アプリケーションを起動」をクリックし、証明書発行アプリケー ションを記動します。



5. プロキシでの認証が必要な場合は「プロキシ認証」画面が表示されます。 「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、「認証」をクリックします。

ロキショー・サキレバスワードを入力のうえ、「認 20証情報	・▶には、ユーザ: 証」ボタンを押下し	名とバスワードを指う てください。	とする必要がありまう	f.		
ユーザ名						
		Г	認証	ר		
			SOUL			

補足

- ご不明な場合はご担当者までご確認していただくようお願いいたします。
- 6.「新しいバージョンのアプリケーションがダウンロード可能です」が表示された場合、 「ダウンロード」をクリックすることでアプリケーションの更新が可能ですので、 項番6.7をご確認の上、アプリケーションの更新をお願いいたします。 電子証明書の更新については項番8.9.10をご確認ください。 .

1王 ^日	書発行
H	明慶の除行を行う場合は、「延明書発行」ボタンを押し、表示される画面で必要事項を入力してください。
1 1	新しいパージョンのアフリケーションがダウンロード可能です。 「ダウンロード」ボタンを押して、最新のアフリケーションをダウンロードしてください。 (最新パージョン: シリース日: ジェン・キャック タウンロード

補足

お急ぎの場合には「後で確認する」をクリックすることで、ダウンロードをスキップすることが可能です。

7.「新しいアプリケーションのダウンロードが完了しました。」が表示されます。 「インストール」をクリックします。

証明書発行	3년44 「紅田豊政行」ざか、太海、 手:	こうわえ東南方公開書簡を入力に	7/12:11	
E-SECONDICI				
	新しいアプリケーションのダウンロ	ードが完了しました。		
証明書更新	アフリケーションをインストールし い	くたさい。	(07b=1	
証明書の一新				リ

8.「アプリケーションの更新が完了しました。再起動してください。」が表示されます。 「終了する」をクリックしアプリケーションを終了します。

証明書発行 証明書の発行を行	白濃合は、「証明書発行に成な	2を押し、表示される画面で必要	電道を入力してください。	
		ult 73 ka 7 to 13		_
	アプリケーションの更新	が完了しました。再起動	してください。	
証明書更新 証明書の「新			終了する	
		証明書更新		

9.「電子証明書発行・更新メインメニュー」画面が表示されます。 更新対象となる電子証明書を選択し、「証明書更新」をクリックします。

3子証明書発行・更新メインメニュー		0007
証明書発行 証明書の発行を行う場合は、「証明書発行」ポタンを把し、表示される画面で必要事項を入力してにださい。 証明書発行		
証明書更新 証明書の更新を行う場合は、更新する証明書を下のバストから進沢し、「証明書更新」ボタンを得して(たたい。	_	
States of the States and States and States and States	_	

10.「電子証明書発行」画面が表示されます。

uho Lite CMS短号書発行アプリケーション	10		Х
子証明書 発行		000	:T00
する証明書情報を確認のうえ、「更新」ボタンを押してください。			
延明書情報			
Country = JP Organization = Mizuho Bank, Ltd.			
Organization Unit = Mizuho Lite CMS CA - G1 Common Name = L			
証明書シリアル書号 = * これを見たれた、上に、単していたれた。これに			
史初 メイノメニューに戻る			

補足

・更新後も古い証明書は端末上に残りますので、不要となった証明書は削除をしていただくよう お願いいたします。削除方法は以下の通りです。

- 1. キーボードのWindowsキーと「R」を押下し、「ファイル名を指定して実行」を起動します。
- 2.「名前(O)」に「certmgr.msc」を入力してENTERキーを押下し、証明書マネージャを起動します。
- 3. 左側の一覧から「個人」→「証明書」をクリックします。
- 4. 削除する対象の証明書を右クリックし「削除(D)」をクリックします。
- 5. 表示されたダイアログで「はい(Y)」をクリックします。

7.問題発生時の対処方法

- ルート証明書・中間認証局証明書ダウンロードができない場合、 以下の原因が考えられます。
 - ・キャッシュやCookieなどが原因で正常に作動しないことがあります。
 キャッシュやCookieを削除することで、正常に作動する場合があります。
 ・ダウンロードはできているものの保存先が変わっており、ダウンロードファイルが見つからなくなってしまっている場合があります。
 - 保存先設定を変更することで、正しい場所に保存することができます。

(1)キャッシュ・Cookieの削除方法

・ブラウザを起動し、右上の「…」から「設定」をクリックします。



・「設定」が表示されますので、「プライバ」シー、検索、サービス」をクリックします。



・「閲覧データをクリア」の設定から「クリアするデータの選択」をクリックします。

閲覧データをクリア	
これには、履歴、パスワード、Cookie などが含まれます。このプロファイルのデータのみが削除されます。 <u>データの管理</u>	
今すぐ閲覧データをクリア	クリアするデータの選択
ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを選択する	>

・「閲覧データをクリア」が表示されます。「時間の範囲」で任意の期間を選択し、 「Cookie およびその他のサイト データ」と「キャッシュされた画像とファイル」に チェック(マ)を入れ、「今すぐクリア」をクリックします。

閲覧データをクリア	×
時間の範囲	
すべての期間	~
閲覧の履歴 180 個の項目。アドレスパーにオ	ートコンプリートが含まれています。
ダウンロードの履歴 13 個の項目	
Cookie およびその他のサイ 1,063 個のサイトから。ほとんどの	ト データ サイトからサインアウトします。
キャッシュされた画像とファイ 119 MBを解放します。一部のサ み込みが遅くなる可能性がありま	ル サイトでは、次回のアクセス時に読 ます。
今すぐクリア	キャンセル

以上でキャッシュ、Cookieの削除は完了です。

(2)保存先の設定変更

・ブラウザを起動し、右上の「…」から「設定」をクリックします。

	E #Up970
MIZUHO Mizuho Lite CMS電子证明書発行・更新サイト	EL1/9/0/P9(N) Call+N
The state of the second s	R HELD Infiniate 242/F200 Oct-Shift-N
ナ証明吉発行・更新サイト トップペーシ	3-6 - 1000 + 2
	本 8世(に入り(D)
	4 52-0-501 (544)
80.	E 779(A)
😑 電子証明書 発行	G 1399000
	10 31-75 a540
	品 (印刷(P) Chi+P
di internet interne	(1) 二百 (1)
③ 電子証明書 更新	Da л-этраната сына
	A ⁰ 世際で読み上げる(3) Cost+State+U
<u>e</u>	その後の7-140
	U PES
④ ルート証明書 ダウンロー	K
the state of the s	Microsoft Edge を聞じる(M)

・「設定」が表示されますので、「ダウンロード」をクリックします



・「ダウンロード」の設定から「変更」をクリックします。

ダウンロード	
場所 C年Users#Downloads	変更
ダウンロード時の動作を毎回確認する ファイルを保存するか、保存せずに識くかを気に尋ねる	•
Office ファイルをブラウザーで開く この設定をオンにすると、Office ファイル(ブレゼンテーション、スプレッドシート、ドキュメント)がデバイスにダウンロードされる代わりに、Microsoft Edge で自動 的に開きます	
ダウンロードの開始時にダウンロードメニューを表示 この設定を目前にすると、ファイルのダウンロードがいつ開始されるかを知るのが難しくなる可能性があります	

・「ダウンロード」の設定から「変更」をクリックします。「フォルダー」を指定・入力して、 「フォルダーの選択」をクリックします。保存先に指定する場所は任意です。

通行 通行					
⊢ → ∗ ♠ 🔸	PC > ダウンロード	,	v õ	ダウンロードの検索	,p
整理 ▼ 新しいフォルタ	7 -				III • 🧕
	名前	更新日	109 Č	推測	サイン
		検索条件に一致する項	目はありませ	he.	
ConeDrive ConeDrive					
PC					
🥩 ネットワーク					
-					
	<				
	ルダー: ダウンロード				
フオ	147 1 7 7 7 M 1				



2. パスワードをロックしてしまった場合

・パスワードをロックしてしまった場合は、パスワードの初期化が必要となります。 統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

3. パスワードを失効してしまった場合

・パスワードを失効してしまった場合は、パスワードの再発行が必要となります。 統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

4. 電子証明書の更新期限が過ぎてしまった場合 ・電子証明書の更新期限を過ぎてしまった場合は、電子証明書の再発行が必要となります。 統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

5. メールアドレスを変更したい場合

・電子証明書の更新期限を過ぎてしまった場合は、電子証明書の発行が必要となります。 統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

6.利用するパソコンを変更する場合

・利用するパソコンを変更する場合は、電子証明書の再発行が必要となります。 統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

7. エラーが表示された場合

・エラーが表示された場合、画面上に表示される【お問合せ窓口】まで統括会社さまよりご連絡ください。

8. 電子証明書の秘密鍵が外部の他社に漏れた場合

・電子証明書の秘密鍵が外部の他社に漏れた場合、不正にログインされる可能性があります。
 外部の他社に漏れた場合、すぐにクライアント証明書の失効手続きが必要となります。
 電子証明書の失効は、統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。